

関連科目，教科書および補助教材	
関連科目	国語Ⅰ、国語Ⅱ、国語Ⅲ、国語Ⅳ
教科書	プリントを配布する。
補助教材等	
学習上の留意点	
<p>○本科の1～4年の国語の授業で、断片的に、繰り返し学習してきたコミュニケーションスキルを向上させるためのトレーニングを、半期15回の授業で集中的に行います。課題のレベルは、当然本科の時よりも高くなります。</p> <p>○授業は、話す・聞くことが中心となりますが、人前で中身のある話をするためには、話す材料を集め、読み、考え、時には資料(図解、グラフ、文章など)にまとめなければなりません。よって、資料作成の方法も合わせて学習します。</p> <p>○そうした作業を繰り返し行うことで、基礎的な国語力のレベルアップも図ります。</p>	
担当教員からのメッセージ	
<p>毎時間レポート課題を出しますが、それらは翌週の授業に臨むために必要不可欠なものばかりです。他の授業の準備等でもたいへんだと思いますが、必ず準備して授業に臨んでください。</p> <p>手を抜くことなく半年間「日本語表現」の授業に取り組むことで、自らのコミュニケーションスキルがレベルアップしたことを確実に実感するはずです。</p>	

授業の明細			
回	授業内容	到達目標	自学自習の内容 (予習・復習)
1	ガイダンス	○シラバスをもとに、授業内容や学習到達目標等を理解する。 ○授業が講義・演習の形式であることを確認する。	予習：シラバスを読み、半期の授業内容を確認する。 復習：レポート課題を行う。
2	コミュニケーション概論・演習①	○スピーチやプレゼンテーションのための話し方(声、リズム・間、体の使い方など)を理解し、実際に行うことができる。 ○聞く側としては、積極的に聴く態度(見る、うなづく、質問やコメントをするなど)を理解し、実際に行うことができる。 ○授業では、「おススメの本」「自己紹介」などの課題で、毎時間スピーチやプレゼンテーションを行う。	予習：前週の授業で出された課題(レポート)に取り組む。 復習：その日に学習した内容に関して資料を見返す。当日の演習について反省点や課題を整理する。
3	コミュニケーション概論・演習②		
4	コミュニケーション概論・演習③		
5	図解①		
6	図解②	○プレゼンテーション資料に不可欠な図解の方法について理解できる。 ○基本的な図解が制作できる。 ○新聞や雑誌、ネット上に掲載される図を利用して、図の効果的な説明ができる。 ○授業では、タイムリーな新聞記事等を利用して、図解の仕方を学習する。	予習：前週の授業で出された課題(レポート)に取り組む。 復習：その日に学習した内容に関して資料を見返す。当日の演習について反省点や課題を整理する。
7	図解③		
8	前期中間試験		
9	ショートプレゼンテーション①	○オリジナルの図を作成し、図を使って効果的なショートプレゼンテーションができる。 ○授業で学習した話し方や図の説明の仕方(説明文の書き方)を踏まえてプレゼンテーションを行う。	予習：前週の授業で出された課題(レポート)に取り組む。 復習：その日に学習した内容に関して資料を見返す。当日の演習について反省点や課題を整理する。
10	ショートプレゼンテーション②		
11	ショートプレゼンテーション③		
12	企画書の作成とプレゼンテーション①	○企画書の書き方を理解し、決められた書式で企画書を書くことができる。 ○企画内容を的確に要約した図解資料を作成することができる。 ○企画書と図解資料をもとに、効果的なプレゼンテーションができる。 ○グループの他者の企画に対して質問したり意見を述べたりすることで、よりよいアイデアになるよう積極的に議論に参加することができる。	予習：前週の授業で出された課題(レポート)に取り組む。 復習：その日に学習した内容に関して資料を見返す。当日の演習について反省点や課題を整理する。
13	企画書の作成とプレゼンテーション②		
14	企画書の作成とプレゼンテーション③		
前期末試験			
15	試験返却・解説 まとめ 授業改善アンケートの実施	○テスト内容の確認を行う。 ○半期の学習内容の確認を行う。	
総学習時間数			90 時間
講義			30 時間
自学自習			60 時間